

# ENVI5.6 SP1 リリースノート

## Note

---

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/ENVI.aspx>

---

このリリースノートは次の項目に分かれています。

## 内容

ENVI5.6 SP1 のサポートプラットフォーム .....	2
ENVI5.6 SP1 の新機能 .....	4
ENVI5.6 SP1 で修正された問題 .....	5
ENVI5.6 SP1 で既知の問題 .....	6

## ENVI5.6 SP1 のサポートプラットフォーム

ENVI5.6 SP1 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。サポートバージョンに変更があるため、ソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）が必要になります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン <b>b</b>
Windows	Intel / AMD 64-bit <b>a</b>	Windows	10
Macintosh	Intel 64-bit	macOS	10.14, 10.15, 11 <b>c</b>
	M1		11 <b>d</b>
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 3.10.0 glibc 2.17

**a:** ENVI5.3 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの ENVI を起動する場合は、「ENVI5.6/IDL8.8 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI/IDL の起動方法」をご確認ください。

**b:** サポートバージョン中の記載は、ENVI / IDL の構築・テスト環境を示しています。弊社による公式のサポートは、表に記載されたインストール環境に対して適用されません。

**c:** Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.8.1 にて動作確認されています。

**d:** M1 チップマシンには、Rosetta2 エミュレータが必要です。

### 推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

また、現行の ENVI の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	4GB
メモリ	8GB
CPU	最小 2Core 推奨 4Core 以上

### ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー（Flexnet License Server）を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード（NIC もしくは Ethernet）を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008 R2, 2012 R2 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x Ubuntu 16

また、現行の Flexnet License Server 2017.08 の動作に要求される最小のマシンスペックを以下の表に示します。インストールを行うマシンが以下の性能を満たしているか、必ずご確認ください。

ハードウェア	最小スペック
ハードディスク容量	500MB
メモリ	4 GB
CPU	2GHz – 2 Cores

**その他：**

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

## ENVI5.6 SP1 の新機能

ENVI5.6 SP1 の新機能詳細は以下のページを参照ください。

[https://www.harrisgeospatial.com/docs/using\\_envi\\_WhatsNew.html](https://www.harrisgeospatial.com/docs/using_envi_WhatsNew.html)

## ENVI5.6 SP1 で修正された問題

ID	解 説
ENVI-71837	スペクトルライブラリビューワの "Remove All Curves" 機能にバグがありました。
ENVI-71923	GeoEye-1 の .TIL ファイルを開けませんでした。
ENVI-71931	NITF ファイルの各バンドをエクスポートすると警告メッセージが表示され ENVI がクラッシュしました。
ENVI-71986	ROI に 1 ピクセルしか含まれていない場合、ENVIROIStatisticsTask に失敗しました。
ENVI-71991	XML メタデータファイルを使用して PlanetScope の"クリップ"データを開けませんでした。
ENVI-72011	ハイパースペクトルデータで Maximum Likelihood Classification を実行するとエラーが発生しました。
ENVI-72053	ENVI::OpenRaster と DATASET_INDEX を使用してマルチイメージセグメント NITF 画像を開くと異なる属性名が返されました。
ENVI-72062	WorldView-2 NITF ファイルの Rigorous Orthorectification を実行すると画像と DEM のオーバーラップに関するエラーが表示されました。
ENVI-72259	Landsat 表面反射率データを開けませんでした。
ENVI-72313	.TAB 空間参照ファイルを伴うマルチ TIFF ファイルの再投影で、誤ったピクセルサイズ単位のため ENVI がハングアップしていました。
ENVI-72314	カラーテーブル付き TIFF ファイルを ENVI 形式で保存すると出力ファイルで色を失いました。
ENVI-72321	RPC マップ情報付きラスタのヘッダを編集すると出力で TILE_OFFSET, TILE_SCASE, GEOID_OFFSET 値を失いました。
ENVI-72323	BIP インターリーブの大きなハイパースペクトルデータを開けませんでした。
ENVI-72343	ImageToImageRegistration task の FULL_EXTENT プロパティは効果がありませんでした。
ENVI-72350	バンド数が多い ENVI ファイルの BIP 読み取りパフォーマンスが良くありませんでした。
ENVI-72360	WorldView のキャリブレーション調整係数が古いものを使用していた。

ID	解 説
ENVI-72364	ENVI ランタイムライセンスのみを使用する MacOS または Linux では ENVI Modeler が実行できませんでした。
ENVI-72406	ENVIVectorMaskRaster を使用してベクターファイルからマスクを作成できませんでした。
ENVI-72420	ENVI サーバーで、UTF8 ファイル名で "Run Model in the Background"を使用するとエラーが発生しました。
ENVI-72444	ENVI は Phase One カメラファイルを正しく読み込みませんでした。
ENVI-72445	スペクトルライブラリビューワが ASD ファイルを正しくインポートしませんでした。
ENVI-72451	ENVI Photogrammetry Module は ADS40 データを処理できませんでした。
ENVI-72460	パワーポイントテンプレートは韓国語 Windows で文字化けしました。
ENVI-72462	UI から GeoPackage ファイルを読み取るときにエラーが発生しました。
クラシック-68583	インポートされた複素数データを表示した後、ENVI Classic はクラッシュしました。

## ENVI5.6 SP1 で既知の問題

M1 チップ搭載の macOS 端末で Rosetta を介してワークベンチを使用する場合、Java Adopt OpenJDK に起因した動作不良が発生します。この問題を回避するには、INSTALL\_DIR/bin/bin.darwin.x86\_64/jre ディレクトリの Java を、次の場所で入手できる「Azul Zulu OpenJDK JRE 11.0.12 + 7 (Zulu : 11.50.19 バージョン)」に置き換える必要があります。

[https://cdn.azul.com/zulu/bin/zulu11.50.19-ca-jdk11.0.12-macosx\\_x64.dmg](https://cdn.azul.com/zulu/bin/zulu11.50.19-ca-jdk11.0.12-macosx_x64.dmg)